

## 2024年3月期 第2四半期 決算説明会

シスメックス株式会社 代表取締役社長 浅野 薫

2023年11月8日

#### Index

- 1. 2024年3月期 第2四半期 決算概要
- 2. 成長戦略と上半期の主なトピックス
- 3. 2024年3月期 通期業績予想

#### (補足資料)

・通期業績予想修正(地域別・事業別・品目別)

- ・当社グループは、2017年3月期より国際会計基準(IFRS)を適用し、IFRSに準拠して開示しております。
- ・2022年3月期に、クラウド・コンピューティング契約におけるコンフィギュレーションまたはカスタマイゼーションのコストについて、サービスを受領したときに そのコストを費用として認識する方法に変更しています。
- ・本資料のうち、売上予想等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づき算出しており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化により、実際の業績等が予想数値と大きく異なる可能性があります。

## エグゼクティブサマリー



#### 上期実績

#### 売上高、営業利益ともに増収増益を達成、過去最高

前年同期比 売上高:109.6%、営業利益:102.0%%、四半期利益:92.5%

- ※前年同期に火災補償金(19億円)収益があり、それを除くと営業利益:108.2%
- 中国地域は、第1四半期の代理店需要が低調であったものの、第2四半期に機器・試薬とも大幅に需要回復し、伸長
- 海外地域は、ヘマトロジー・尿分野を中心に堅調な売上伸長と円安効果もあり、全地域が増収 (現地通貨ベースで、米州、中国、APが大幅な増収)
- 販管費等は、直販地域拡大による人員増や人的資本強化のための人件費増、インフレ影響、デジタル化関連費用の 償却開始などもあり、抑制に努めたものの円安による増加もあり、前年同期比 118.0%
- 計画に対しては、売上高は73億円の未達、販管費等は可能な限り効率化を図るも、営業利益は61億円の未達

#### 通期業績予想

#### 売上高・営業利益ともに期初計画の達成を見込む

- 上期実績および為替動向に合わせ、想定為替レートを変更
- 円安効果に加え、XR™シリーズなどの新製品の導入による売上伸長、下期原価率の改善や 上期から検討を進めている不採算事業見直しの効果も一部期待されるため、計画達成を見込む

1。 2024年3月期第2四半期決算概要

## 決算総括 (対前年)



	2024年3月期2Q		前年同期		<b>举</b> 左回地以	為替の影響	
(億円)	実績	構成比			前年同期比	影響額	前年同期比 (為替影響除く)
売上高	2,126.9	100%	1,940.2	100%	109.6%	+65.3	106.3%
売上原価	1,016.8	47.8%	954.8	49.2%	106.5%	-	-
販売費及び 一般管理費	625.9	29.4%	529.8	27.3%	118.1%	+23.0	113.8%
研究開発費	150.1	7.1%	145.2	7.5%	103.3%	-	-
その他の営業損益	4.1	0.2%	<u>21.2</u>	1.1%	19.5%	-	-
営業利益	338.2	15.9%	331.5	17.1%	102.0%*	+43.9	88.8%
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	221.8	10.4%	239.8	12.4%	92.5%	-	-

#### ● 過去最高の売上高と営業利益を達成

✓売上高 : 海外地域はすべて増収、中国は第2四半期で回復

円安効果もあり、2桁に近い増収を達成

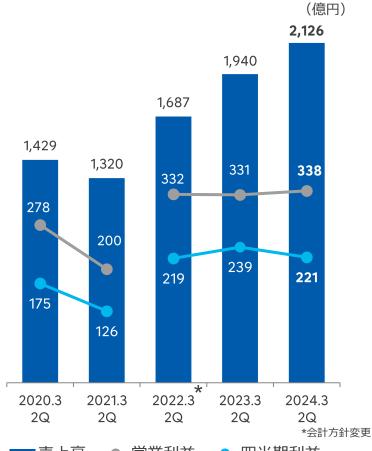
✓ 営業利益 : 販管費は増加するも、売上原価改善による粗利増加や円安効果も

あり、増益

※前年同期の火災補償金(19億円)を除くと 営業利益は対前年 108.2% の増益

✓ 四半期利益: 為替差損益の影響により、減益

- 為替差損益: +13.5億円(前年同期比△18.3億円)



	──呂美利益	一一四十期利益
	2024年3月期2Q	前年同期
1USD	141.0円	134.0円
1EUR	153.4円	138.7円
1CNY	19.8円	19.9円

## 単四半期業績推移(1Q→2Q)



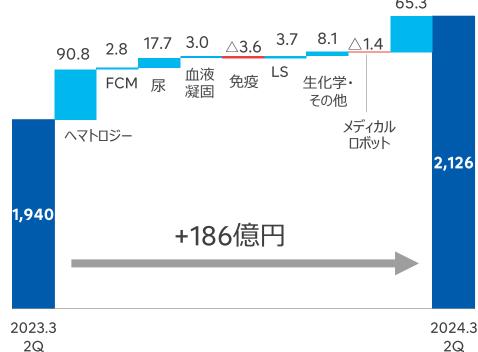
## 第2四半期の売上高は大幅伸長 <u>販管費の適切なコントロールにより、営業利益率</u>は大幅改善

	1Q (4月-6	5月)	2Q (7	'月-9月)	(億円)
	2024年3月期	構成比	2024年3月期	構成比	対 1Q
売上高	953.5	100.0%	1,173.4	100.0%	+23.1% (伸長率)
売上原価	449.4	47.1%	567.4	48.4%	+1.3pt
販売費及び 一般管理費	301.4	31.6%	324.4	27.6%	<b>△4.0pt</b>
研究開発費	71.3	7.5%	78.8	6.7%	<b>△0.8</b> pt
その他の営業損益	1.4	0.2%	2.6	0.2%	_
営業利益	132.7	13.9%	205.4	17.5%	+3.6pt
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	86.2	9.0%	135.6	11.6%	+2.6pt

## 売上高の増減要因(事業別・分野別)







COVID-19関連検査(ライフサイエンスと免疫およびその他に含まれる)

2024.3期2Q:12.9 億円(国内のみ)

(参考) 2023.3期2Q: 34.7 億円(国内31.1億円、海外3.6億円)

ヘマトロジー分野は、XRシリーズ効果や機器更新需要および新興国の伸長 尿分野は、米州、中国を中心に伸長

免疫分野は、COVID-19検査需要減の影響により、微減 血液凝固分野は微増も、グローバルOEM供給へ向けた準備は着実に進捗

(億円)		2024£	F3月期2Q	前年同期比		
		実績	構成比	円ベース ネ	為替影響を除く	
売上	高	2,126.9	100.0%	109.6%	106.3%	
	ヘマトロジー	1,281.7	60.3%	112.0%	107.9%	
	FCM	14.5	0.7%	133.2%	126.1%	
	尿	180.6	8.5%	115.2%	111.3%	
	血液凝固	324.0	15.2%	101.8%	101.0%	
	免疫	104.8	4.9%	96.5%	96.7%	
	生化学	15.4	0.7%	95.5%	94.2%	
	ライフサイエンス	102.1	4.8%	110.4%	104.1%	
	その他	92.2	4.3%	116.6%	111.5%	
タ	「イアグノスティクス事業	2,115.7	99.5%	109.8%	106.4%	
×	ディカルロボット事業	11.2	0.5%	88.8%	88.8%	
					7	

## 売上高の増減要因(地域別・品目別)



### 米州、中国、APが大幅伸長し、グループの成長をけん引

		2024年3	月期2Q	前年	前年同期比		
(億	i円)	実績	構成比	円ベース	現地通貨 ベース		
	売上高	2,126.9	100.0%	109.6%	106.3%*		
	米州	572.0	26.9%	113.8%	108.2%		
	EMEA	604.7	28.4%	109.6%	99.1%		
	中国	475.1	22.4%	110.8%	111.8%		
	AP	198.3	9.3%	117.2%	114.4% <sup>*</sup>		
	日本	276.6	13.0%	96.1%	-		
	機器	471.5	22.2%	108.4%	104.0% <sup>*</sup>		
	試薬	1,286.4	60.5%	109.7%	106.8%*		
	サービス	292.5	13.8%	113.4%	108.7%*		
	その他	76.4	3.6%	103.0%	101.9%*		

※為替の影響を除いた円貨ベースの前年同期比伸長率



#### 地域別の主な増減要因

※以下のコメントは現地通貨ベースで記載

米州	・ ヘマトロジー分野において、米国、中南米、カナダで伸長した他、 尿分野も好調に推移し、 <b>2桁に近い増収を達成</b>
EMEA	<ul><li>・ 直販化したサウジアラビアやスペインなどが伸長</li><li>・ 特殊要因(ロシア・COVID-19) により、横ばいに留まる</li></ul>
中国	・ 検査数の回復、現地生産化効果などあり、ヘマトロジー分野の2桁伸 長が牽引し、 <b>2桁増収を達成</b>
AP	・ 機器設置台数増加などにより、各国が好調に推移し、機器・試薬と もに2 桁伸長し、 <b>2桁増収を達成</b>
日本	・ ヘマトロジー、尿、血液凝固分野は伸長するも、COVID-19関連検査 需要の減少を受け、減収

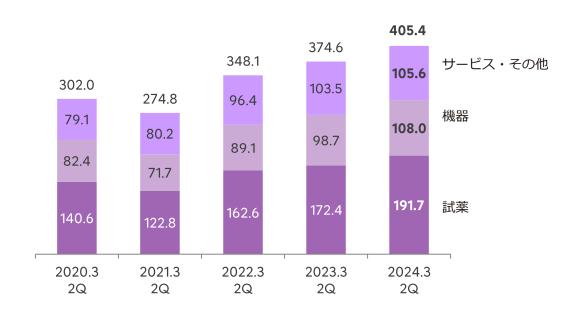


## 米州(地域別)



	2024年3月期	前年同期	前年同期比			
(Million USD)	2Q	נאלה-ו – הט	現地通貨ベース	円ベース		
売上高	405.4	374.6	108.2%	113.8%		
機器	108.0	98.7	109.5%	115.0%		
試薬	191.7	172.4	111.2%	117.1%		
サービス・その他	105.6	103.5	102.1%	107.3%		

#### 売上高推移(Million USD)



#### 機器・試薬ともに増収

ブラジルの販売体制強化により、中南米でヘマトロジー・尿分野が伸長

北米においても、機器更新需要の獲得などがあり、 ヘマトロジー・尿分野が堅調に伸長

#### ● 機器

- ✓ ヘマトロジー分野において、カナダ・中南米で大幅に伸長したほか、CLIA Waived製品であるXW-100も米国で好調に推移
- ✓ ブラジル・米国において、尿分野が伸長

#### 試薬

✓ ヘマトロジー・尿分野において、北米、中南米ともに機器設置台数の増加により、伸長

## EMEA (地域別)

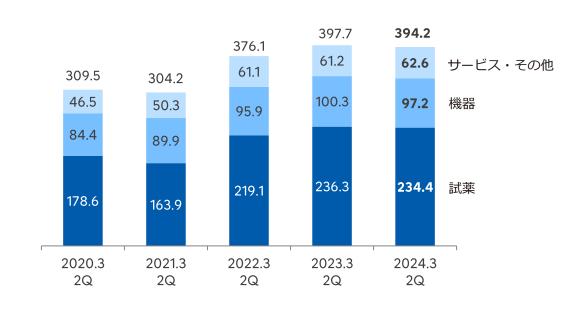


	2024年3月期	前年同期	前年同期比			
(Million EUR)	2Q	ניילה	現地通貨ベース	円ベース		
売上高	394.2	397.7	99.1%	109.6%		
機器	97.2	100.3	96.9%	107.4%		
試薬	234.4	236.3	99.2%	109.6%		
サービス・その他	62.6	61.2	102.4%	113.2%		

サウジアラビアやスペインなど、直販化に移行した 国を中心に売上が伸長するも、特殊要因(ロシア・ COVID-19)の影響により、横ばい

(特殊要因を除くと現地通貨ベースで+5.9%の伸長)

#### 売上高推移(Million EUR)



#### ● 機器

- ✓ 直販化したサウジアラビアなどで増収
- ✓ 前年イタリアでの大型案件獲得の反動や、ロシアの 減収などが響く

#### ● 試薬

✓ 直販化したサウジアラビアやスペインのほか、機器 設置台数が増加したイタリアなどで伸長

## AP(地域別)



	2024年3月期	前年同期	前年同期比
(億円)	<b>2Q</b>	133	円ベース
売上高	198.3	169.2	<b>117.2%</b> (114.4%)
機器	44.6	38.3	116.6%
試薬	132.4	116.2	114.0%
サービス・その他	21.1	14.7	144.2%

\*()は為替の影響を除いた場合



機器・試薬ともに2桁増収 インド・韓国・オーストラリアで、ヘマトロジー・ 尿分野が大幅伸長

インドネシアを中心に、免疫分野が好調

#### ● 機器

✓ 各国における販売活動推進により、ヘマトロジー分野を 中心に尿・血液凝固・免疫分野が伸長し、2桁増収

#### 試薬

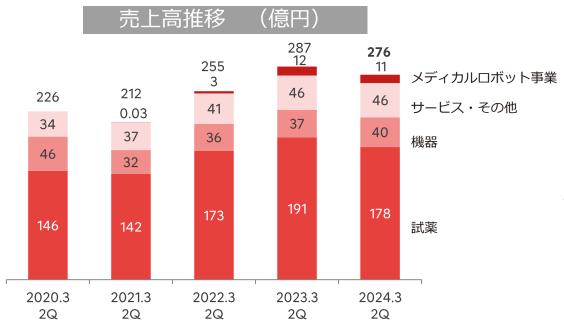
✓ 機器設置台数の増加に伴いインド、オーストラリアおよび韓国などでヘマトロジー分野が大幅伸長したほか、インドネシアなど東南アジアを中心に、尿・血液凝固・免疫分野が好調に推移し、2桁増収

## 日本(地域別)



(億円)	2024年3月期 2Q	前年同期	<b>前年同期比</b> 円ベース
売上高	276.6	287.9	<b>96.1%</b> (102.7%)
ダイアグノスティクス事業	265.4	275.2	<b>96.4%</b> (103.4%)
機器	40.6	37.7	107.6%
試薬	178.2	191.3	<b>93.1%</b> (103.2%)
サービス・その他	46.5	46.1	101.0%
メディカルロボット事業	11.2	12.6	88.8%

\*( )はCOVID-19の影響を除いた場合



機器はXRシリーズやBT-50が好評で、増収 試薬はCOVID-19関連検査需要の減少により、減収

#### ダイアグノスティクス事業

#### ● 機器

✓ XRシリーズによるヘマトロジー分野の伸長や、中小規模施設 向け製品導入効果により尿分野が伸長、また血液凝固分野に おいても、増収

#### ● 試薬

✓ 血液凝固分野におけるシェア拡大および血栓項目の採用が進むも、COVID-19関連検査需要の減少(△18.1億円)により、減収

#### メディカルロボット事業

- ✓ 今期新たに4台導入、販売開始以来の累計導入台数は39台※
- ✓ 累積手術数は2,523症例(2023年9月末時点)

※販売スキームにより、売上計上の額や時期および期間が様々であり、導入台数と売上高は比例いたしません。

## 中国(地域別)



	2024年3月期	前年同期	前年同期比			
(Million CNY)	<b>2Q</b>	נהלכיו – נינו	現地通貨ベース	円ベース		
売上高	2,399.2	2,145.6	111.8%	110.8%		
機器	394.4	383.1	103.0%	102.0%		
試薬	1,747.1	1,535.4	113.8%	112.8%		
サービス・その他	257.7	227.1	113.5%	112.4%		

売上高推移(Million CNY) 2,479 2,399 2,390 2,202 258 2,145 242 サービス・その他 223 227 394 589 機器 600 383 730 1,747 1,632 1,547 1,535 試薬 1,248 2020.3 2022.3 2023.3 2021.3 2024.3 2Q 2Q 2Q 2Q 2Q

第1四半期は代理店需要が低調であったが、 第2四半期は回復し、上期累計では2桁増収を達成 腐敗防止運動などの影響は軽微

#### ● 機器

✓ 現地生産品の上市により、ヘマトロジーが2桁伸長し、 増収

#### 試薬

- ✓ 検査需要の回復、機器設置増加により、ヘマトロジー・ 尿分野は、2桁増収
- ✓ 免疫分野は新規項目などの販促活動により、2桁増収



## 中国市場への対応



#### 当面、ヘルスケア市場の需要は大きく成長市場の位置づけに変更なし 様々な環境変化に対し、柔軟かつ迅速に対応していく

✓ 機器の現地生産移管推進 (すでに6機種が移管完了、今期は+3機種を上市予定)

#### 政府調達方針

#### 中国市場の動向

- 高齢化によるヘルスケア需要の増大
- 1人当たり国民医療費が先進国水準へ (現状は、日本の 1/7 程度)
- 約2,000の2級病院を3級病院へアップグレード することによる需要増(千県工程)
- 景気減速による経済の停滞 (ヘルスケア市場への影響は軽微)

#### 腐敗防止運動

- ✓ 一部、入札遅延などもあるものの、 当社への影響は軽微、引続き注視
- √ 市場環境の健全化は、当社に有利

✓ 直接販売・サービスへのシフト

集中購買

✓ 試薬の自社化による原価率低減

競合他社の台頭

/ 競争力のあるユニークな製品の開発

## 参考:中国への生産移管スケジュール



### 今期中に主な機器の中国への生産移管が完了する見込み ヘマトロジー分野の機器は、販売台数に占める現地生産品比率が約70%まで伸長

#### 生産移管完了(6機種)

#### 生産移管予定(4機種)

ヘマトロジー

XSシリーズ



ヘマトロジー

XNTMシリーズ (分析装置のみ)



ヘマトロジー

- ・XNシリーズ搬送システム(2機種)
- ・塗抹標本装置 (SP)

12月



ヘマトロジー

XN-Lシリーズ (中小型タイプ)



2018年12月

2020年12月

2022年

2024年3月期4Q

2025年3月期

尿検査

3月: UFシリーズ(沈渣)



UCシリーズ(定性)

尿検査

※薬事認可取得完了 4Q出荷開始へ

血液凝固検査

CNシリーズ



免疫検査

HISCL<sup>TM</sup>-5000



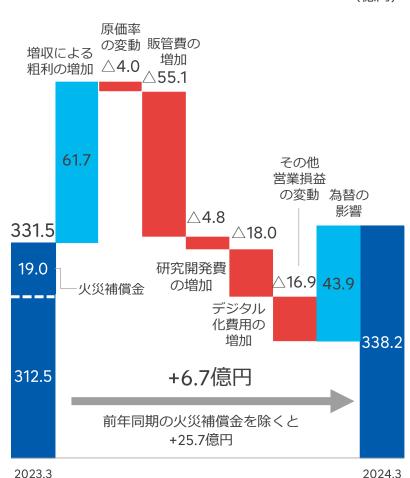
## 営業利益の増減要因



#### 営業利益

(億円)

2Q



2Q

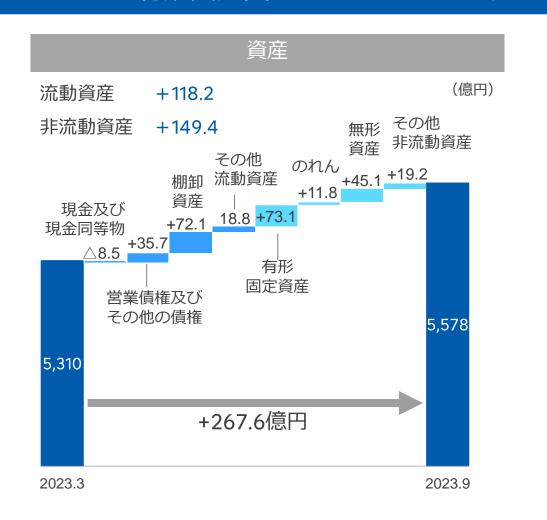
※下記数値・コメントは為替の影響を除く

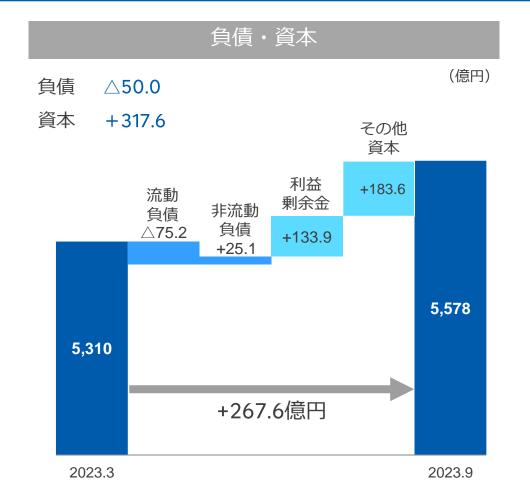
- 原価率変動による影響:4億円(0.2pt 悪化)
  - ✓ 改善要因:輸送費高騰の緩和 0.4pt、プロダクトミックスの影響 0.3pt
  - ✓ 悪化要因: サービスコスト 0.6pt、製品等の原価悪化 0.1pt
- 販売管理費の増加:55億円
  - / 労務費:直販化に伴う人員強化や人件費増:約40億円
  - ✓ 経費 : インフレや販売促進活動の強化 : 約15億円
- 研究開発費の増加:4.8億円
  - ✓ 製品開発への継続投資および薬事関連費用
- デジタル化関連費用の増加:18億円
  - ✓ グループの生産性向上に向けたデジタル化投資

## 連結財政状態計算書の増減要因



### 棚卸資産は、下期の機器販売に向けた準備と為替影響により、増加 有形固定資産は、ブラジルのトレーニングセンター開設などにより、増加

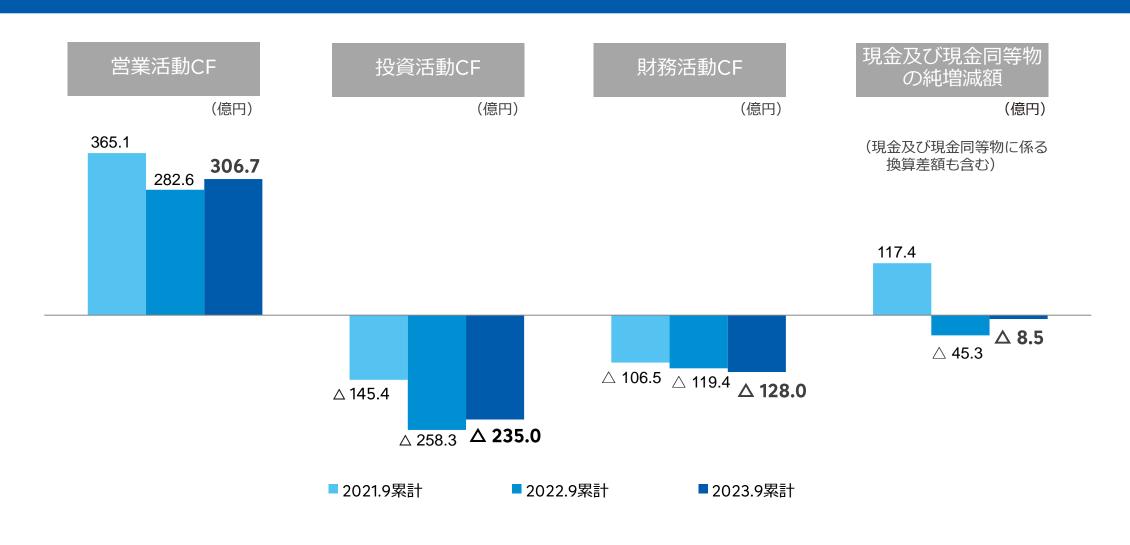




## キャッシュフローの推移



#### 営業活動CFは増加するも積極的な投資および配当の増額により、現金が減少



## 2. 成長戦略と上期の主なトピックス

## シスメックスの成長戦略



## 新興国戦略

#### • インド

- ✓ 生産工場の着工
  - \*2025年3月期新生産拠点稼働
- ✓ 州政府と連携した活動を開始
- ✓ インド市場向け製品の開発推進

#### ● 中南米

- ✓中下位市場への販売体制強化
  - \* 当社がプロモーション実施
- ✓ ブラジルにトレーニングセンター を開設 (Center for learning)

#### ● 中東

✓ サウジアラビアの直販化

## 既存事業の強化

(免疫・血液凝固・ライフサイエンス)

#### ● 免疫分野

- ✓ 富士レビオHD株式会社との協業による検査項目拡充
- ✓ 中国での検査項目の拡充(2024年3月期2Q時点:58品目)
- ✓ アルツハイマー病検査\*試薬については、日本で販売開始、米国ではLDT向けに大手検査センターへ供給開始

\* 微量の血液からアルツハイマー病の原因となる脳内アミロイドBの蓄積状態を調べる検査

#### ● 血液凝固分野

- ✓シーメンス社とのグローバルOEM契約に基づく欧米市場自社販売準備は順調に進捗(2025年3月期より開始)
- ✓ 原材料の自社化推進

## 新規事業の拡大

#### ● 手術支援ロボットシステム

- ✓ バージョンアップモデルの発売
- ✓ シンガポールでの販売承認取得
- ✓ 症例数は2,500件超

#### ▶ 再生細胞医療(AlliedCel株式会社\*)

- ✓ 株式会社JUNTEN BIOとの ライセンス契約
- ✓ 2026年3月期薬事申請予定

\* J C R ファーマ株式会社とシスメックスとの合弁会社

## 参考:新興国戦略



直販化または販売体制強化により、インド・ブラジルを中心に大幅伸長 経済・医療品質の向上により、大幅な市場成長が見込まれる地域へ積極投資し、機会獲得



## 参考:既存事業の強化(免疫・血液凝固・ライフサイエンス) sysmex



#### 免疫・血液凝固分野において、グローバル展開を加速するとともに、 ライフサイエンス分野の構造改革を実施し、グループ全体で収益性向上を実現

#### 免疫分野

#### 既存アセットの活用・新たなアライアンスによりグローバル展開を急加速へ

- 2,000台以上の市場設置機器に試薬項目を追加し、収益性を向上
- アルツハイマー病検査試薬を日本で販売開始、米国においてもLDT用の試薬を大手検査センターに供給開始
- 富士レビオHD株式会社との業務提携基本契約締結によるグローバル展開の加速

#### 血液凝固分野

#### 圧倒的なグローバルシェアNo.1を目指す

- シーメンス社とのグローバルOEM契約による米国・欧州での販売開始(2025年3月期)
- HYPHEN BioMed, SASを活用し、ユニーク項目を拡充
- 原材料の脱動物化、自社化による原価低減を実現

#### ライフサイエンス

#### 収益性を向上

- 事業内容の再精査による収益性向上
- Amoy<sup>®</sup>肺がんマルチ遺伝子PCRパネルなど、検査ポートフォリオの拡充

## 参考:新規事業の拡大



オープンイノベーションなどを活用し、再生細胞医療や個別化医療における新たな事業創出を目指すアジアから世界へ、ヘマトロジーで培ったネットワークを活用し、メディカルロボット事業の拡大を推進

#### 再生細胞医療

- AlliedCel株式会社と株式会社JUNTEN BIOがライセンス契約を締結
- 誘導型抑制性T細胞(JB-101)による免疫寛容状態を誘導する再生 医療等製品の国内製造販売業を担う
- 2020年厚生労働省「先駆け審査指定制度」の対象品目に指定
- 2026年3月期の製造販売承認申請を予定

#### 当薬剤の期待される効果

- 合併症リスクの低減
- 臓器生着の安定化
- 免疫抑制剤の投薬低減



#### メディカルロボット事業

- 2023年7月18日にバージョンアップモデルを販売開始
- 累積手術数 : 2024年3月期2Q時点で2,500件を超え、順調に推移
- 累計導入台数:39台(今期4台増)
- 認定医師数 : 456名(今期169名増)
- 2023年9月にシンガポールの Health Sciences Authority (健康科学庁) より販売承認を取得



## サステナビリティ経営の推進



#### 人的資本強化に向けた投資、人的資本に関わる情報開示の充実

#### 信託型株式報酬制度(ESOP)の導入

- ✓ 従業員のエンゲージメント向上や競争力ある報酬実現に向け、 新たな仕組みを導入
- ✓ 2025年3月期より、海外子会社の特定キーポジションを対象に 先行導入
- ✓ 2026年3月期以降、国内外のグループキーポジションへ 展開予定

#### 本信託による当社株式の取得内容

①取得する株式 当社の普通株式

②取得価格の総額 120億円(予定)

③株式取得期間 2023年11月13日~

2024年1月31日(予定)

④株式取得方法 株式市場から取得

#### ISO30414認証取得

- ✓ 透明性ある情報開示を通じたステークホルダーとの対話実現に 向け、ISOの認証取得
- ✓ 11項目58指標について経営戦略に沿った定義づけを行い開示
- ✓ 日本を含めたアジアの製造業では初の取得



詳細情報は、サステナビリティデータ ブックにて開示

## 3. 2024年3月期通期業績予想

## 通期目標達成にむけた下期の取り組み



#### ■ 新製品による効果

- ✓ EMEA・AP・中国におけるXRシリーズおよびBT-50上市
- ✓ 中国の免疫試薬項目の販売促進
- ✓ 尿分野において、中規模施設を対象としたUF-1500の販促

#### ■ 原価率低減

- ✓ 輸送費高騰の緩和
- ✓ 血液凝固試薬における原材料の自社化などによる原価低減
- ✓ 増産効果による原価低減
- ✓ 一部地域、品目における価格転嫁

#### ■ 事業・研究開発の再整理

- ✓ 不採算事業の見直しにより、資源配分の優先順位付けを行い、生産性と効率性を向上
- 為替レートの見直し

## 2024年3月期 通期業績予想修正



緑字:期初公表からの変更箇所

### 通期の売上高と営業利益は期初公表(5月)から変更なし 想定為替レートおよび販管費等は、上期実績に基づき修正

(億円)	2024年3月期 上期 (4月-9月)				2024年3月期 下期 (10月-3月)			2024年3月期 通期 (4月-3月)		
	実績	構成比	対計画 進捗率	期初公表	修正公表	構成比	増減額	修正公表	構成比	対前年
売上高	2,126	100.0%	96.7%	2,400	2,473	100.0%	+73	4,600	100.0%	112.1%
売上原価	1,016	47.8%	-	-	1,158	46.8%	-	<b>2,175</b> (+20)	47.3%	111.9%
販売費及び 一般管理費	625	29.4%	-	-	629	25.4%	-	<b>1,255</b> (+10)	27.3%	111.7%
研究開発費	150	7.1%	-	-	194	7.9%	-	345 (△30)	7.5%	111.1%
その他営業損益	4	0.2%	_	-	1	-	-	5	0.1%	48.6%
営業利益	338	15.9%	84.6%	430	491	19.9%	+61	830	18.0%	112.7%

	投資	計画		設備投資 478億円			減価償却	費 350 億円	
•	想定為替レー	ート 通期	通期	下期	前期実績	•	為替感応度の概	<b>羅算値(年間)</b>	
		/////////////////////////////////////	(2023年11月修正)	(2023年11月修正)	(23年3月期)			売上	営業利益
	1 USD	133.0円	143.0円	145.0円	135.5円		USD	7.9億円	1.8億円
	1 EUR	143.0円	154.2円	155.0円	141.0円		EUR	5.8億円	1.4億円
	1CNY	19.2円	19.9円	20.0円	19.8円		CNY	54.6億円	41.8億円

## 予想配当額



## ●期初予想から配当額は変更なし

	中間	期末	年間	配当性向
2023年3月期	40円	42円	82円	37.5%
2024年3月期 (案)	42円	42円	84円	33.8%

当社は、安定的な高成長を持続させるための積極的な投資と、収益性の向上に伴う株主の皆様に対する利益還元との適正なバランスを確保することを目指しております。株主還元については、継続的な安定配当に留意するとともに、業績に裏付けられた成果の配分を行うという基本方針のもと、連結での配当性向30%を目処に配当を行ってまいります。

## (補足資料)

## 通期業績予想修正(地域別)



緑字:期初公表からの変更箇所

(億円)

	期初公表	修正予想 (2023年11月修正)	増減額	対期初公表 増減率	前期実績 (2023年3月期)
売上高	4,600	4,600	±0	-	4,105.0
米州	1,175	1,235	+60	+5%	1,059.0
EMEA	1,200	1,240	+40	+3%	1,113.7
中国	1,095	1,095	±0	-	969.0
AP	450	425	△25	△6%	364.8
日本	680	605	△75	△11%	598.3

	通期 (2023年5月公表)	通期 (2023年11月修正)	下期 (2023年11月修正)	前期実績 (2023年3月期)
1USD	133.0円	143.0円	145.0円	135.5円
1EUR	143.0円	154.2円	155.0円	141.0円
1CNY	19.2円	19.9円	20.0円	19.8円

## 通期業績予想修正(事業別・品目別)



(億円)

	期初公表	修正予想 (2023年11月修正)	増減額	前期実績 (2023年3月期)
売上高	4,600	4,600	±0	4,105.0
ヘマトロジー	2,655	2,750	+95	2,413.2
FCM検査	45	40	△5	22.6
尿検査	380	395	+15	340.5
血液凝固検査	710	710	±0	669.0
免疫検査	295	235	△60	235.7
生化学検査	40	35	△5	34.2
ライフサイエンス	220	210	△10	199.3
その他	185	185	±0	166.8
ダイアグノスティクス事業	4,530	4,560	+30	4,081.6
メディカルロボット事業	70	40	△30	23.3
機器	1,070	1,060	△10	917.9
試薬	2,750	2,760	+10	2,475.3
サービス	590	610	+20	543.5
その他	190	170	△20	168.1

## トピックス(2023年4月~2023年11月)



#### ダイアグノスティクス事業

- インドに新たな生産拠点の建設開始(2023年4月/AP)
- アルツハイマー病検査の検査試薬を発売(2023年6月/日本)
- 世界初、最短30分で薬剤感受性を迅速判定するプライマリケア市場向け検査システムを欧州で発売(2023年6月/EMEA)
- 血液中のアミロイドβを測定する試薬を米国LDT向け試薬として大手検査センターLabcorpに供給開始(2023年8月/米州)
- 国内初、遺伝性網膜ジストロフィの遺伝子パネル検査システムが保険適用(2023年8月/日本)
- 富士レビオHD株式会社と免疫検査領域における業務提携基本契約を締結(2023年10月)

#### メディカルロボット事業

• 手術支援ロボットシステム「hinotori™」がシンガポールでの販売承認を取得(2023年9月/AP)

#### サステナビリティ経営

- 「シスメックス・エコビジョン2033」を策定(2023年5月)
- 人的資本に関する情報開示のガイドライン「ISO 30414」の認証を取得(2023年10月)
- 従業員向け信託型株式報酬制度(ESOP)を導入(2023年11月)

#### 「シスメックスレポート2023」、「サステナビリティデータブック2023」を発行



#### 統合報告書「シスメックスレポート2023」

https://www.sysmex.co.jp/ir/library/annual-reports/index.html





#### 年度報告書「シスメックス サステナビリティデータブック2023」

https://www.sysmex.co.jp/csr/report/index.html



サス	テナビリテ	< 目標の連接状況						
********				tiet .			0 1	
		MPT1				2011 WA 2012 WA	選択した後の取り組み	
Т		へマトロジー検査作款	CEC + X F M (00MM 4 ~ X)			-	-	n
l		n7100-84017**	ハマトロジーが禁における単年集の機能 記載・ヤービスの市場機能に対する連絡 売上度日本				522%	2023 年度の市場シェアは、当市場において機能回復当野の地区にもい 製薬売上が特長したほか、日本において耐力なハイエンドモデスの間 が前に 個人カーカ、中国での政府製造力計の COVID-39 新年拡大に
		すれる雑むボットによる 皮内数	学研究様ロボットシステム (株式会社 メディカロイド部) を扱いた皮供数				-	行動機制の影響があり、前型度と同水準にとどきりました。 また、ガルケノム医療制を実施内費やCDMA ほこよる果が人衆事務会!
	ノベーションを じた高を開発的な	1000年後の日本	Mir. REBE. BEOGRAPHOSH				2,709 (1	前年度と前条単寸開発しています。 つもに、特別信息を整つ前半点間内表は、事業は影響をわって可能に乗り
1		対け出版の数	<b>河市、東北新京、景田の出版市数の出社</b>				301 ff	TURY,
		in th	NCC オンコバオルを用いたがんゲッム 医療解析実現性数				-	→後は、ペマトロジー検査作業と手能を運びだったによる哲学器を新 セニタリング福祉として設定し、場合のタイアダノスティクス事業、映画 であるメディニルロボット事業員方での社会へのインパクトをセニタリ
L			及がん巻度に対して (1554人法(がん 13ンパ酸塩厚検査システム)を持いた 接着の保証所能					LTUSEY.
100	●アクセスの LL	NAC-MARTE	<b>米月日 - 別刊会上日へ寄刊作上日</b>				-	アラジル、ヤウジアウビアなど裏面図の販売・サービス質制を他化した。 セピスタン、参加額・開発送上型の両上は前の差比 150 使用は上機化 した。内容も Wind ヤ ICA など試験機関と連携し、直接アクセスやI のたと事業に取り組入ていきます。
L	品架と信頼の高度		報告している製造 (機能・試集) を対象 として、自主回収・自主効果を実施した 体験					2022年後のソコース作動に利用型と関係の1件で建築性重ねなし。 Wasting Links 作物について利用型に引き出きってした。 定場を認め、2018年でも他でするためが1機関するとともに、定期的には に関係。ウローバル自用性を関係リステムによるサイムリーを可能から に関係、ウローバル自用性を関係リステムによるサイムリーを可能から に関する対象性のが概念により、手具が出力を実施を表現しています。 も進んの企業に、最終の関係、日上記ませている手が、
		FDA Werning Letter (RB)	FDA Warning Letter 电银环热电路				-	
	サブライチェーン マタジスントの 報名	CSR 製造計画等 (銀行 第四一次サブライヤー)	直材料・次マプライヤー(選内・海外) に対して、CSに調査に対答したサブラ イヤーの新き(海外関係会社の表ヤアラ イヤーは含まない)	90%	107%		87%	2027 年度心で5月 連直回車車は 04%と前を達まり電灯しました。サ ヤーに対しては、前年 後に実際したでは、資産対策を接に、信 スコフリ ハイリスフ棚町を頂いばし、南の駅A機能を借りまげを行うなど。フ
		サブライヤー (場所) に 対するトレーニング作数・・	マプライヤー(別内)を対象とした説明後、 説何・トレーニングなどの意識問題 (単年度)	1.9	5#		-	アップも実施しました。サブライヤーに対するトレーニング外数は、約 と初等のうち、 2002 年度は、3CD 初級キャステナビリティ・グリーン発表の根末に関 放射点を開催し、延べ 431 日数引丸が参加しました。今後も引き終
L		第二名以前直接主	用材料ーミサブライヤー(国内)の報告 中製品品幣に関する第二者提昇の影響者					報告美さの歌曲機会に発布でいきます。
			の対象改造、選択的、スペアパーツの よけれ効果を「白社集造の支援利用業物 の形象・先上面」		ciste	07688		
		リサイクル・電視的連州市 小の完全代表	回答と別談(MO2) サイクル・環境配置所列 の利用者		100%	300%	-	2022年度の機器「お包たりの CO、保護運は彩年度からさらに指導し 減少」、信意力製品の製売構製とグローバルを保て CO、終記条数が
		0-6 Houseure (33-73	2022 世際年展帯状況とする(3×6) 株田県 (スコープ3) の利益年		TOWNS	SSNAME	-	機能にあることが主な減少要因となりました。また、2022年後の会界 にともなっこの、併述雑目初中間から24年前底、信言者から知識を5
\$6 C	おからのおからは		2016 年度を基準年度とする報長1 位 出たりの CO: 旅出版の物理和	20%/808			129806	ごせる信仰を確定理像しました。 今後は、シスメックス・エコビジョン 2033 の連絡向けた新たち目標 で「プロダクトロスのゼロセ」「リヤイウム・環境配象材料への完全性
		水内型の水水 水内型の水水	2016年末を基準年度とする機器1位 当たりの田水路の約回車	SHEE		-	214806	て「プロタクトロスのゼロモ」「リティクル・随機を連続等への開発す 「OHO 単注解的基準(スコープル)を設定し、ステークネルターとと グリーンイノベーションに開稿し、シストックスなってはの報告を生む
1		CO. 株容集の初後年 (出身物治)	20% 和唐を藤準和唐とする学体先上指 指向りの回溯物語にともなり CO: 鉄正盤 の配縁者	20%898			179404	グリーンインペーションに開催し、シストックスならてはの他を生立り 機構型社会の実際におけた新七女祭職を協能することを目的します。
		SURPHEAR	2019年度を基準年度とする包装材料 財産者の利益率			-	-	
Г		CHG WALEROSE CR3+3*1, 2)	2022年後も基準可提とするGP-G 製造業 (スローブし 2) の他選挙		00%MH	155808		2022 年度の事業活動にともなっての、詳ロ動の制度を(シスメッタ エコピタルン2005 対象事業所)は、前年度から「中央制度、再生可能」
		CO. 供配管の利润等 (事業別数)	20% 年度を基準を探えても連続を上向 当たりの事業活動にさらなり CO: 研定値 の形成者	HONER			565400	34年ののう様えが使んだことによる大幅の利润を実施しました。 2003年度に終たに発定した「シスメッタス・エコビジョン 2003」で
ľ	******	再生付款エネルギー政策	全電気を用機に対する再生円能にキルギー 便可能の定義		25%	90% EC.E.	-	対象機関的を拡大した(CO)等位置の利用を経確を指定するとともに、第 一人ひとりの機構を推進があため、一人当たりのエネルギー整角維制を また、発音が終エラルギー型率の制定な必要をとして設定し、カーデンタ、
		一人百大りエポルギー 使物量的回答	2022 和後を基準程度とする一人当たり のエネルギー使用量の根据者		35808	-		また。何を刊をエチルキー出来も何だな回答として何をし、カーテンシートラル案例に向けた取り組みを領化していきます。

#### トピックス

「シスメックスレポート2022」が、 米国アニュアルレポートのコンペティションを受賞

#### 2022 Vision Awards

**Annual Report Competition** 

・PLATINUM WINNER WORLDWIDE など







## 2Q単四半期実績(対前年同期)



## 海外地域の好調により、売上高は+8.7%の伸長も、前年同期のその他の営業損益の影響により、減益

2024	I年3月期2Q (7	2023年3月期2Q (7月-9月			
実績	<b>構成比</b> 前年同期比		実績	(億F 構成比	
1,173.4	100.0%	108.7%	1,079.9	100.0%	
567.4	48.4%	108.3%	524.1	48.5%	
324.4	27.6%	116.6%	278.2	25.8%	
78.8	6.7%	103.5%	76.1	7.0%	
2.6	0.2%	13.6%	19.5	1.8%	
205.4	17.5%	93.0%	220.9	20.5% (18.6%)	
135.6	11.6%	85.0%	159.6	14.8%	
	実績 1,173.4 567.4 324.4 78.8 2.6 205.4	実績     構成比       1,173.4     100.0%       567.4     48.4%       324.4     27.6%       78.8     6.7%       2.6     0.2%       205.4     17.5%	1,173.4       100.0%       108.7%         567.4       48.4%       108.3%         324.4       27.6%       116.6%         78.8       6.7%       103.5%         2.6       0.2%       13.6%         205.4       17.5%       93.0%	実績     構成比     前年同期比     実績       1,173.4     100.0%     108.7%     1,079.9       567.4     48.4%     108.3%     524.1       324.4     27.6%     116.6%     278.2       78.8     6.7%     103.5%     76.1       2.6     0.2%     13.6%     19.5       205.4     17.5%     93.0%     220.9	

※( )はその他営業損益の影響を除いた場合

## XRシリーズ導入スケジュール



● XRシリーズ EMEA XRシリーズおよび検体搬送システム商品群(BT-50など)を販売開始(2023年7月)

日本 1Qも堅調に推移し、ヘマトロジー分野の機器売上は2桁伸長を達成(2022年7月よりBT-50などを販売開始)

AP 2024年3月期3Qより販売開始予定

中国 BT-50 をXNシリーズへの追加モジュールとして販売開始、XRシリーズは2024年3月期3Qに販売開始予定

米州 BT-50 をXNシリーズへの追加モジュールとして販売開始、XRシリーズは2025年3月期より販売開始予定

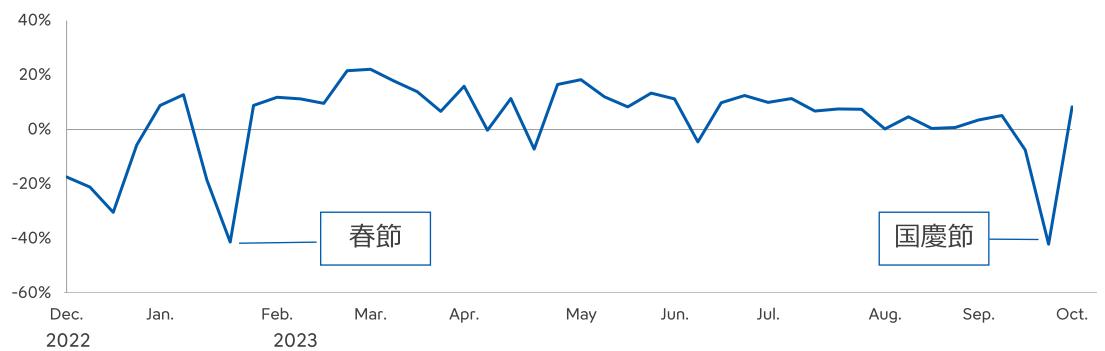


XRシリーズと検体搬送システムの接続イメージ

## 中国へマトロジー検査数推移



#### 行動規制撤廃後、コロナ禍前の水準まで回復



- \* 当社推計
- \*1台当たり平均検査数の対2019年4月~2020年3月平均

# Together for a better healthcare journey